

■ 中期目標（案）設定の考え方

- 「国際社会に貢献し、世界に誇れる動物園」（戦略会議）を実現するため、改めて、これまでの計画及びその達成状況を振り返り、その反省を踏まえ、独法における中期目標を設定する。
- いずれの計画も、ハード面、ソフト面から集客面、動物福祉面双方の実現を図り、公立動物園の役割を果たすことを目標として立案されている。

ZOO21計画

評価

目的	結果
集客	△
動物福祉	△

取り組み

環境教育の場、レクリエーションの場、種の保存の場の実現をすべく、生態的展示による獣舎整備に着手

結果

- ・入場者数は平成最低まで落ち込む。(116万人：H25)
- ・獣舎整備は頓挫

課題

- ・集客努力の欠如
- ・過大な獣舎整備費(350億円)

リセット

天王寺動物園101計画

評価

目的	結果
集客	○
動物福祉	△

取り組み

バランスよく園機能の強化をはかるべく立案。特にCS改善、イベント企画を工夫。獣舎整備計画は、85億円にまで縮小。

結果

- ・入場者数は大幅に回復(174万人：H29)
- ・獣舎整備は遅れ気味

課題

- ・入場者数横ばい。
 - 動物導入の困難化
- ・獣舎整備費なお負担大
 - 市発注方式の限界

経営構造の課題

独法化

地方独立行政法人天王寺動物園中期目標

目指す方向性

目的	バランスに配慮
集客	継続した取組 →
動物福祉	取組みを強化 ↗

取り組み

- ・動物導入（繁殖）に向け、専門人材の確保・育成を柔軟に実施 ⇒ 動物福祉の向上
- ・獣舎整備推進に向け、法人の発注によるコスト縮減が期待 ⇒ 動物福祉の向上

園の魅力向上

目標達成のための好循環の実現

```

    graph TD
      A[動物福祉充実 CS・魅力向上] --> B[信頼獲得]
      B --> C[動物導入]
      C --> D[集客増]
      D --> E[投資 ヒト・モノ]
      E --> A
  
```

■ 中期目標（案）の考え方 ～作成方針～

- 中期目標については、地方独立行政法人法第25条において、以下の5つの事項について具体的に定めるよう規定
 - ①中期目標の期間
 - ②住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - ③業務運営の改善及び効率化に関する事項
 - ④財務内容の改善に関する事項
 - ⑤その他業務運営に関する重要事項
- このうち、園運営の主となる具体的な取組み事項が記載される②については、天王寺動物園101計画をベースに目標の骨格部分を作成

住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	101計画との関係	日本動物園水族館協会の「4つの役割」との関係
1 動物展示の充実と快適な園内環境の創出による動物園の魅力向上 (1) 計画的な動物の導入・確保による展示動物の充実 (2) 魅力的なイベントの企画・実施 (3) 積極的な情報発信 (4) 質の高い来園者サービスの提供	活性化計画	【レクリエーション】
2 動物の生態等に関する理解や関心を深めるための教育活動の推進 (1) 間近で動物を感じる機会の提供 (2) 園内外における学習機会の提供 (3) NPO法人等との協働による学習機会の提供	機能向上計画のうち 社会教育機能 の向上	
3 動物福祉に配慮した飼育管理と高度な飼育技術の確立 (1) 動物福祉に配慮した飼育の実践 (2) 動物福祉に配慮した獣舎整備の推進	機能向上計画のうち 飼育管理機能 の向上 + 施設整備計画	【種の保存】
4 繁殖及び調査研究活動の推進 (1) 他園との協力も含めた繁殖の推進 (2) 調査研究の推進と知見の共有 (3) 希少動物の計画的な導入	機能向上計画のうち 調査研究機能 の向上	【調査・研究】